



extreme

extreme



**2020年3月期
(第3四半期)**

決算説明資料

2020年2月13日

株式会社エクストリーム 証券コード：6033

ご説明内容

1 会社概要

2 FY2019 第3四半期決算概要

3 FY2019 通期見通しと戦略

4 参考資料

1. 会社概要

会社概要

会社名	株式会社エクストリーム（英訳名 EXTREME CO.,LTD.）
設立	2005年5月（3月決算）
本社 名古屋オフィス	東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 愛知県名古屋市中区錦三丁目5番31号
代表者	代表取締役社長CEO 佐藤 昌平
資本金	414百万円
従業員数	連結638名 単体406名※2019年10月末現在
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム、スマホアプリ、IT、WEB系ソフトウェア顧客常駐型開発 ・スマホアプリ、クラウドプラットフォーム等受託開発 ・ゲームライセンス許諾等コンテンツプロパティ事業
グループ会社	株式会社EPARKテクノロジーズ、株式会社EPARKペットライフ、株式会社エクストラボ、ALTPLUS VIETNAM Co.,Ltd

【企業コンセプト】

まじめに面白いを**創**る会社。未来の楽しいを**造**る会社。

【行動指針】

スピード × **クオリティ** × **チャレンジ**

会社概要

当社は、クリエイティブな開発スキルを有する
デジタルクリエイタープロダクションです

コンテンツプロパティ事業

当社が保有するゲーム・キャラクター等の
知的財産を活用し、様々な事業を展開

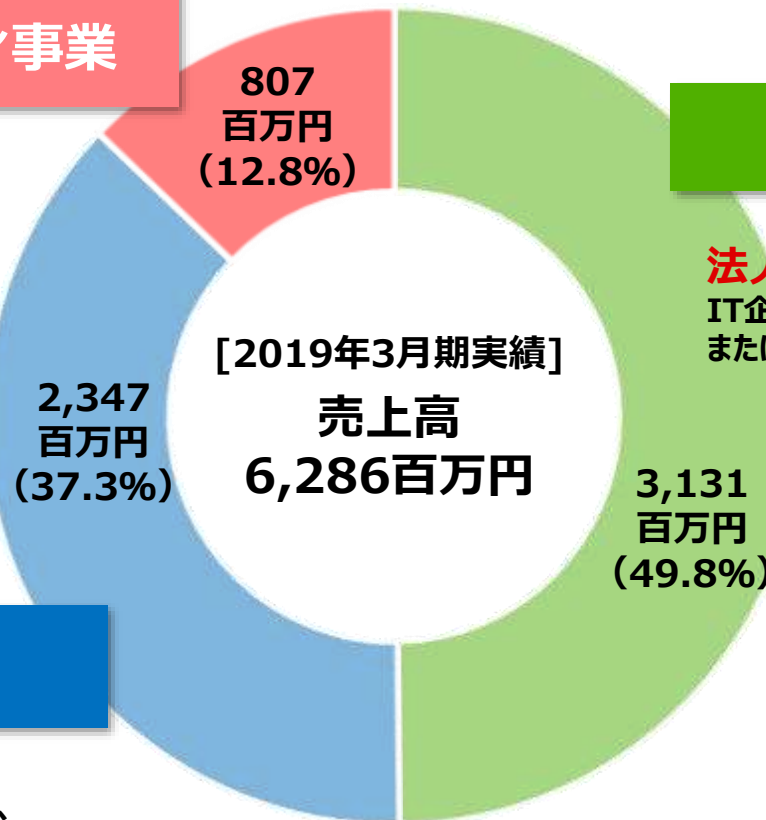


受託開発事業

法人向けにスマートフォンアプリ開発案件、
クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer
Relationship Management)構築～導入～
運用など、案件を持ち帰り形式にて受託・納品

ソリューション事業

法人向けにゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・
IT企業などへソフトウェア開発サービスを派遣契約
または請負契約にて提供



セグメント別売上構成

2.FY2019 第3四半期決算概要

FY2019 第3四半期決算概要

連結PLサマリー

- ・売上高は前年同期比119.8%、営業利益は前年同期比213.1%と大きく伸長
 →受託開発事業を除き、売上高・営業利益とも前年同期を上回った。
 →コンテンツプロパティ事業は「ラングリッター」効果が継続、安定的な収益となった。
 →受託開発事業の利益貢献が今後の課題。

(単位：百万円)

	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	前年同期比	FY19 2Q	FY19 3Q	前四半期比
売上高	4,459	5,343	119.8%	1,845	1,822	98.7%
ソリューション事業	2,296	2,580	112.4%	867	889	102.5%
受託開発事業	1,788	1,719	96.1%	579	636	109.7%
コンテンツプロパティ事業	373	1,042	279.1%	410	305	74.4%
営業利益	521	1,111	213.1%	427	336	78.7%
ソリューション事業	512	605	118.2%	224	152	67.9%
受託開発事業	46	△16	-	△17	△1	-
コンテンツプロパティ事業	369	1,003	271.6%	398	297	74.7%
調整額（全社販管費）	△406	△480	-	△177	△111	-
経常利益	434	1,011	232.7%	355	363	102.3%
当期純利益	256	747	291.0%	226	322	142.3%

FY2019 第3四半期決算概要

連結BSサマリー

(単位：百万円)

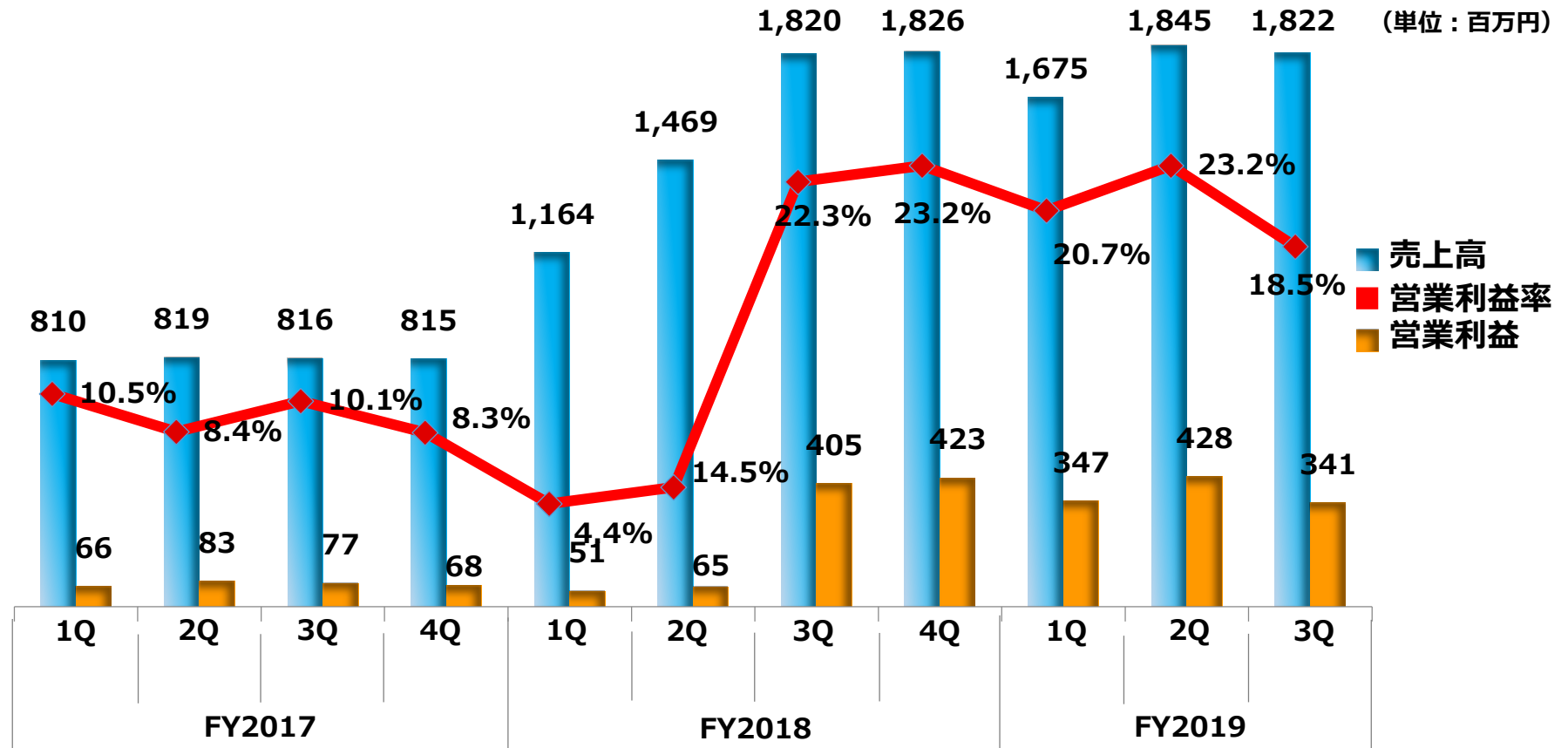
	2019年3月末	2019年12月末	前期比
流動資産	2,674	3,071	114.8%
現預金	1,257	1,636	130.1%
固定資産	1,002	1,227	122.4%
のれん	101	156	155.2%
ソフトウェア（仮勘定含）	63	77	123.2%
流動負債	1,186	1,241	104.6%
固定負債	236	158	67.1%
純資産	2,254	2,898	128.6%
利益剰余金	1,169	1,804	154.2%
負債・純資産合計	3,677	4,298	116.9%

- ・子会社（エクストラボ）によるオルトプラスベトナム取得により、のれんを計上
- ・ラングリッサー関連ロイヤルティは全地域USドル建受取となっており、四半期毎に為替評価あり

FY2019 第3四半期決算概要

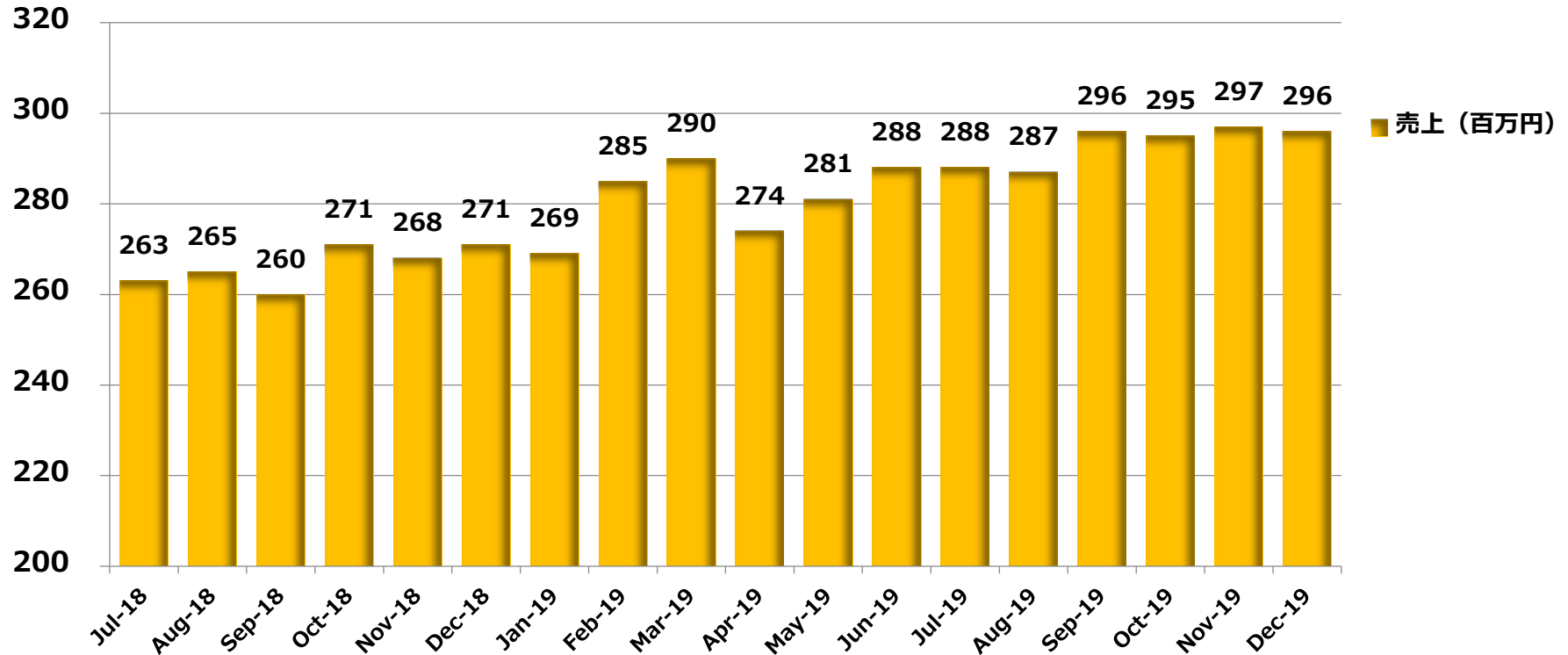
連結売上高・営業利益・営業利益率推移

- ・ラングリッサーはサービス開始1年超が経過したが、投入地域の拡大により堅調な実績が続く。
- ・前四半期比で営業利益率が低下したが、ラングリッサーのロイヤルティ収益に変動があったこと、ソリューション事業において賞与支払が影響したことが要因。



FY2019 第3四半期決算概要

エクストリーム ソリューション（人材）事業 月次売上推移

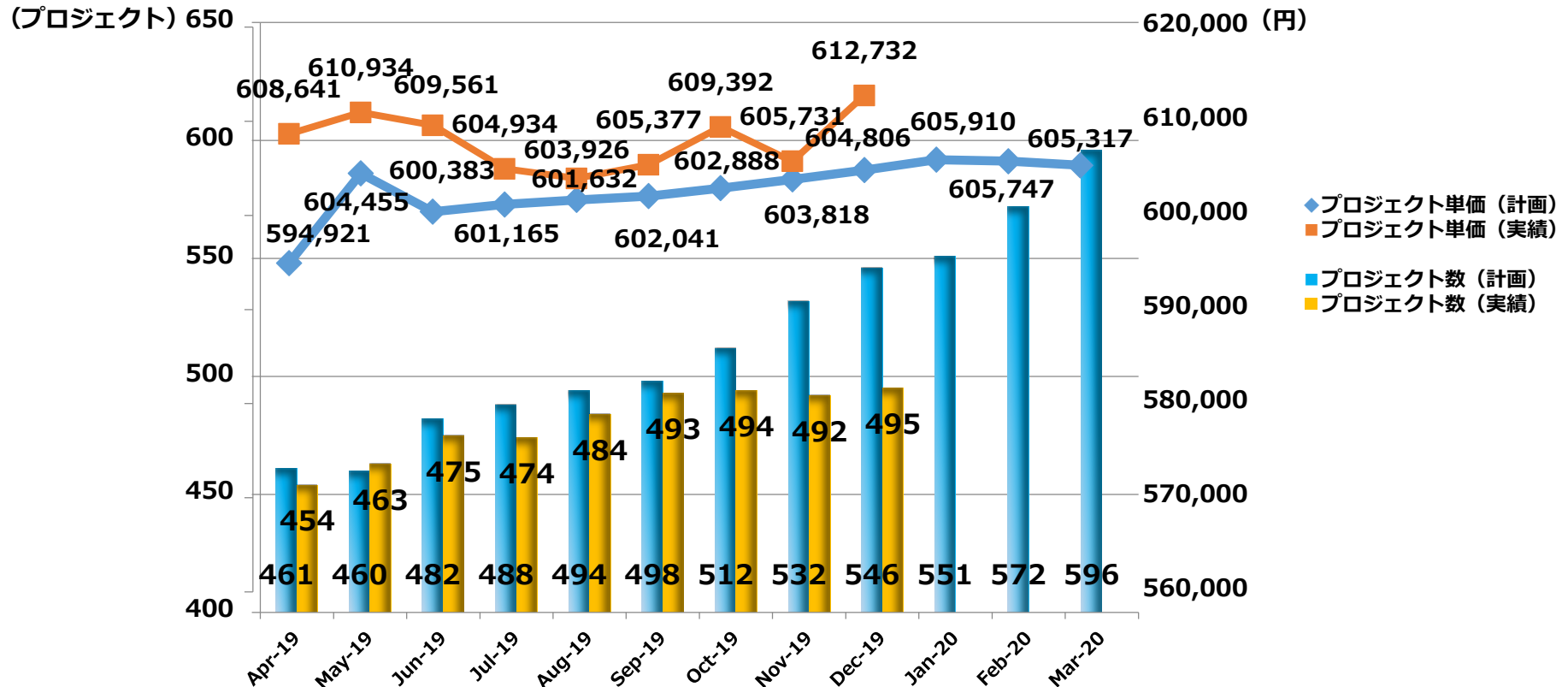


- ・本3Qにおいては、前四半期比99.9%という水準で着地したが、前年同期比では112.4%と堅調な推移となっている。
- ・今後、需要動向などを調査ののち、名古屋以外の都市圏への進出も検討。

※上記月次売上推移には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

FY2019 第3四半期決算概要

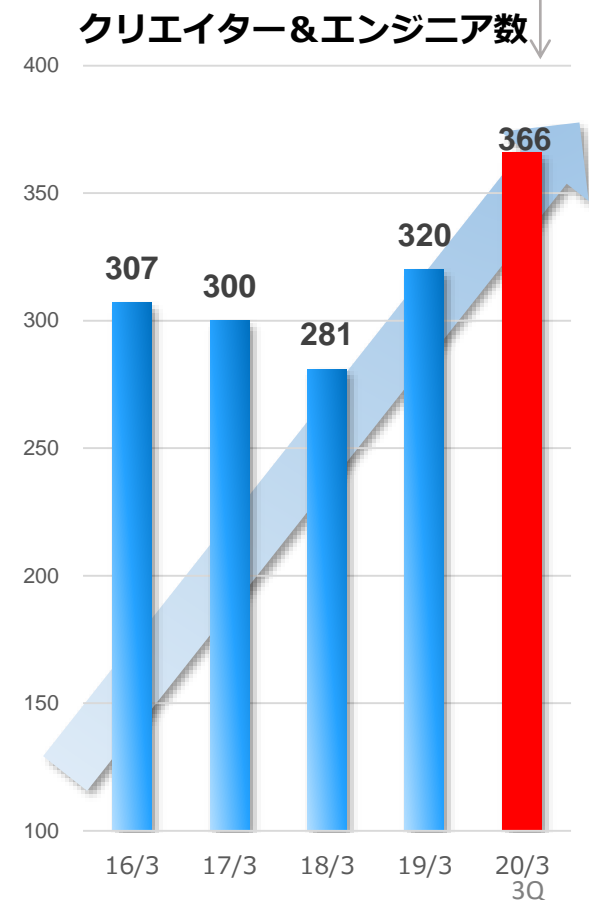
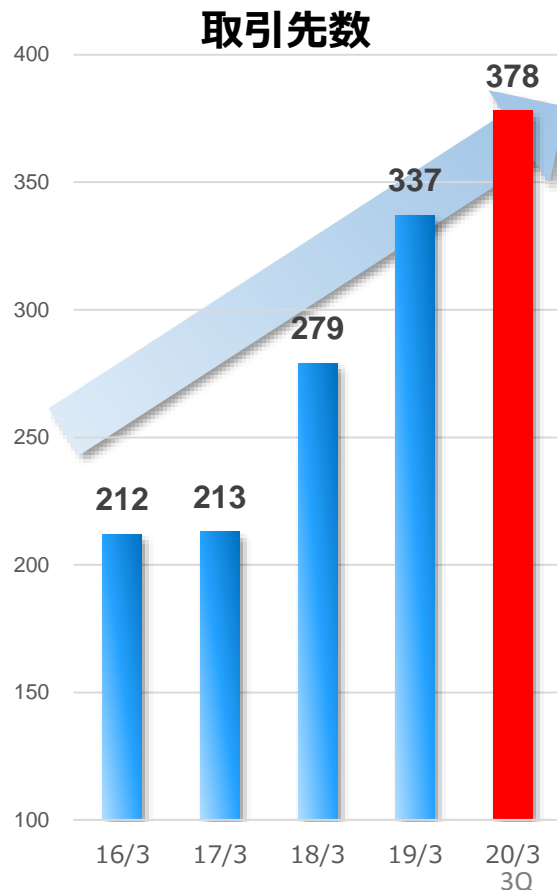
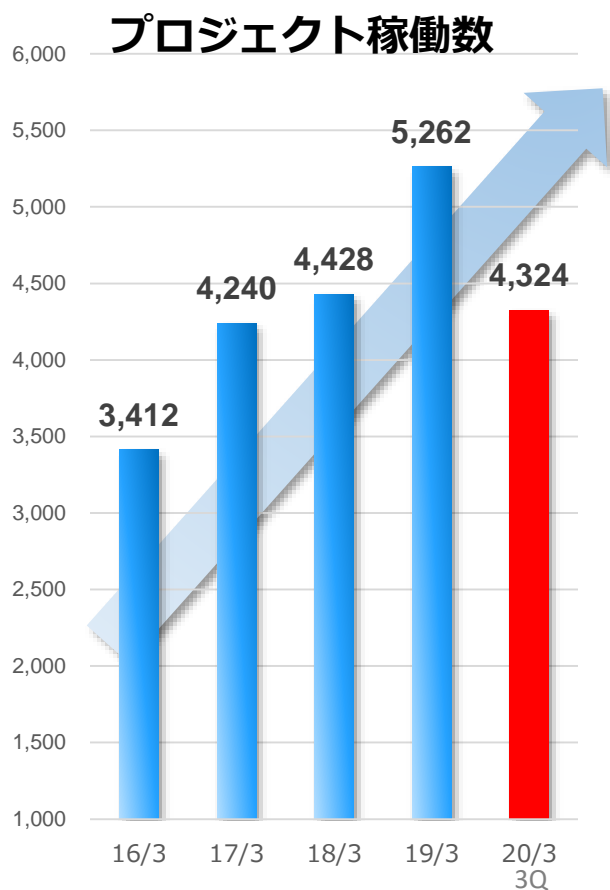
ソリューション事業 月次プロジェクト数・稼働単価予想および実績



- ・稼働単価は計画を上回るものの、3Q以降プロジェクト数の伸びに課題
 - 下期に入り、採用が若干減速傾向。プロジェクト数における計画と実績に乖離が発生。
 - 稼働単価は想定より5千円～10千円ほど上回る水準で推移。社員を適材適所にローテーションさせる仕組みが奏功。
 - プロジェクト数未達については、単価上昇でリカバーする方針。

FY2019 第3四半期決算概要

エクストリーム ソリューション事業 主要KPI



採用は下期に入り若干ペースが緩やかな傾向に。来期以降見据え、応募手法の見直しに着手。

※プロジェクト稼働数は、人材ソリューションサービス及び受託開発サービスを合算した期中累計から算出

※取引先数は、期中において取引（売上）が発生した顧客企業数を1とした通期合算から算出

※クリエイター&エンジニア数は、期末日または四半期末時点における社外常駐プロジェクトに従事したクリエイター&エンジニア数

3.FY2019 通期見通しと戦略

FY2019 通期見通しと戦略

連結PL予想 (修正あり)

(単位：百万円)

	2020年3月期予想	今回予想	増減率
売上高	7,020	7,097	1.1%
営業利益 ()は営業利益率	1,050 (15.00%)	1,363 (19.21%)	29.8%
経常利益	1,000	1,277	27.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	672	927	38.0%
1株当たり当期純利益	123円55銭	170円51銭	—

■売上高内訳イメージ

- ソリューション事業 (3,700百万円 前期比118.2%)
WEB系顧客深耕・積極採用によりプロジェクト数増加を想定
- 受託開発事業 (2,300百万円 前期比98.0%)
EPARK関連2,000百万円、エクストリーム受託開発300百万円を想定
- コンテンツプロパティ事業 (1,020百万円 前期比126.4%)
ラングリッサーロイヤルティ収益を想定 (詳細下記)

ライセンス許諾を行っているスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』によるロイヤルティ収益が引き続き堅調に推移していることから、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益の予想を修正いたしました。

FY2019 通期見通しと戦略

配当予想 (修正あり)

	前回予想 2019/5/14発表	今回予想 2020/2/13発表
1株当たり配当	25円	34円
1株当たり当期純利益	123円55銭	170円51銭

連結業績予想の修正のとおり、当初予想利益を上回る見通しとなりました。
株主の皆様には安定した配当の維持および業績動向を勘案した結果、期末配当金につきましては、
前回配当予想 1株当たり25円から9円増額し、1株当たり34円へ修正いたします。

4. 参考資料

代表者略歴



代表取締役社長 CEO
佐藤 昌平

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 1964年2月 | 大阪府生まれ |
| 1989年4月 | サミー工業株式会社入社
(現サミー株式会社) |
| 1996年11月 | 日本コンピュータシステム株式会社入社
同社メサイヤ事業部事業部長 |
| 2000年5月 | 株式会社クロスノーツ設立
代表取締役就任 |
| 2005年5月 | 当社設立 代表取締役就任 |
| 2014年6月 | 当社代表取締役社長CEO就任 (現任) |

沿革

任天堂Wii「バーチャルコンソール」にて
メサイヤゲーム配信開始

PCオンラインゲーム
「桃色大戦ぱいろん・ぷらす」課金サービス開始

日本コンピュータシステム株式会社と
メサイヤブランドに関する譲渡契約を締結

許諾商品 スマホアプリ「ラングリッサー」が
中国を中心に大ヒット



コンテンツプロパティ事業 ①ゲームサービス

コンテンツプロパティ事業 ②ライセンスサービス

株式会社ウィットネストを吸収合併
株式会社EPARKテクノロジーズを子会社化

受託開発事業

ソリューション事業 ②人材ソリューションサービス

ソリューション事業 ①受託開発サービス



当社設立

人材ソリューションサービス
月次稼働プロジェクト数
50突破

人材ソリューションサービス
月次稼働プロジェクト数
100突破

人材ソリューションサービス
月次稼働プロジェクト数
200突破

人材ソリューションサービス
月次稼働プロジェクト数
350突破

人材ソリューションサービス
月次稼働プロジェクト数
400突破

人材ソリューションサービス
月次稼働プロジェクト数
150突破

人材ソリューションサービス
月次稼働プロジェクト数
250突破

株式会社ウィットネストを子会社化

人材インキュベーション・技術交流施設「Co-CORE(ここあ)」を設置

12/25東証マザーズへ上場

事業紹介/ソリューション事業

開発・設計・企画技能を有する当社社員が
顧客企業のプロジェクトに参画し、開発業務を行う

当社
(ソリューション事業)

派遣
または
請負契約

顧客企業

エンターテインメント系 (売上比率54.3%)

スマートフォン
アプリ
(73.0%)

遊技機器
(1.5%)

家庭用ゲーム
(13.7%)

オンラインゲーム
(9.3%)

業務用ゲーム他
(2.6%)

非エンターテインメント系 (売上比率 : 45.7%)

IT
(55.5%)

金融 (フィンテック)・官公庁・
通信 (IoT)・製造等

WEB
(44.5%)

WEBサイト・ネット広告・放送・総合
サービスメディア等

事業紹介/ソリューション事業

顧客分布の推移

	FY19 3Q	FY18 3Q	FY17 3Q
エンタメ系顧客	54.3%	60.5%	63.8%
スマートフォンアプリ	73.6%	75.3%	74.0 %
家庭用ゲーム	13.6%	11.9%	13.3%
オンラインゲーム	8.5%	10.0%	7.6%
遊技機器	1.5%	1.1%	3.3%
業務用ゲーム他	2.6%	1.6%	1.7%
非エンタメ系顧客	45.7%	39.5%	36.9%
IT	57.1%	61.6%	64.6%
WEB	42.9%	38.4%	35.4%

- ・ゲームなどのエンタメ系顧客を主軸としながら、近年は非エンタメ系の伸長が見られる
- ・特にWEB業界は、クリエイティブな要素が求められるケースが多いため、
当社の強みであるタレント性の高いエンジニアの投入は、事業規模拡大の大きなテーマとなる

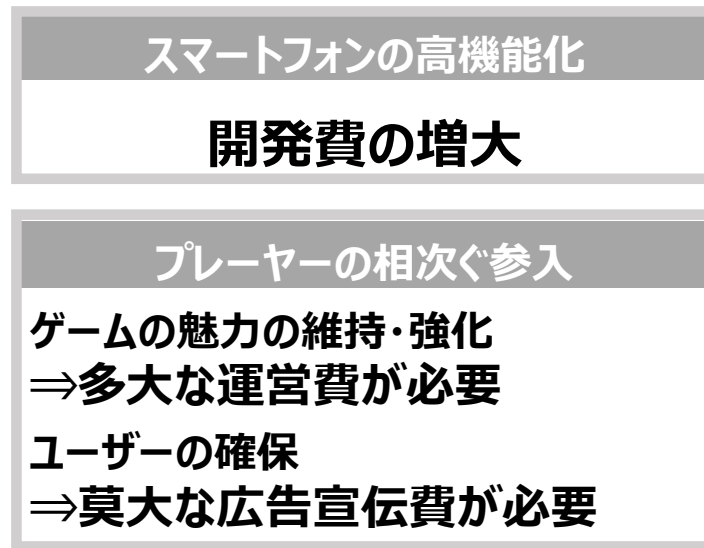
事業紹介/ソリューション事業 (市場動向)

ゲーム市場の動向

ゲーム専用機からスマホへのシフトに伴い、利用者の裾野が広がったことで、
技術力だけではなく、企画力も必要な時代へ

=パブリッシャーは企画・宣伝に注力

一方で…



1タイトル当たりの
開発費膨張

プロフェッショナル集団に対する**アウトソーシング需要の増加**が

予想される

事業紹介/ソリューション事業（事業の強み）

登録型派遣会社とは異なり、タレント性や独自スキルを持った人材を柔軟に供給することができる＝競合他社が少ない

【当社の人材活用モデル】

- 研修・教育の実施により、取引先企業に対して、
当社社員の技術力を**企業として担保**
- 当社社員は営業マンとしての側面を持つことから、
お客様先での取引拡大に寄与
- デバイスの流行廃りに左右されない、**盤石な経営基盤**

事業紹介/ソリューション事業 (主要顧客)

スマートフォン・家庭用ゲーム・IT・WEB企業などを
中心に多数のお客様企業と取引

<ゲーム系顧客>



<WEB・EC系顧客>



<IT系顧客>



※上記は一例です

事業紹介 / 受託開発事業

EPARKプラットフォームに関わる各種開発・保守、
ナショナルクライアントからのシステム開発・保守・追加案件
などの受託開発を行う

当社グループ受託開発事業の強み



研究・開発段階から
お客様とサービスを
作り上げた実績

技術に裏打ちされた企
画力を元にご提案、事
業立ち上げ

豊富な実績を活かし
た最適なシステムへ
のご提案

お客様の課題に合わせ
多様なチーム組成可能
なネットワーク

- ・ビッグデータ分析での分析基盤の設計開発および分析、AIを活用したシステム開発
- ・リアルタイムコミュニケーションを実現する技術を活用した映像配信プラットフォーム開発
- ・遠隔地にある設備をデバイス上の操作でオペレーション支援システムの開発

事業紹介 / 受託開発事業 (EPARK)

受託事業 (EPARK) について

・18/5/11適時開示「資本業務提携並びに第三者割当増資による新株式の発行及び支配株主の異動に関するお知らせ」の通り、当社と株式会社EPARKにおいて、パートナーシップ体制を構築し、当社子会社となった「株式会社EPARKテクノロジーズ」が「EPARK」に係る基幹システムの開発業務を担う取組みであります。

EPARKとは？

登録会員約2,000万人、提携店舗数約10万店舗の人気施設の予約・順番受付サイトです。

PC、スマートフォンなどから無料（※）で利用でき、飲食・歯科・病院・薬局・リラクゼーションサロン・ヘアサロン・駐車場といったさまざまなジャンルで、予約・順番受付ができるサービスです。

（※）一部有料のオプションがあります。

三井アウトレット、ららぽーとを中心に各種商業施設への導入も進んでいます。

事業紹介/コンテンツプロパティ事業

ゲームタイトルやキャラクターに関するIPを保有し、
これらIPを利用したゲームサービスやライセンスサービスを行っております。
また、ソリューション事業において蓄積した技術力を活かし、
ゲームタイトルの制作・開発・配信を行っております。



1980年代より家庭用ゲームにおいて100タイトル以上リリースし人気を博したゲームブランド「メサイヤ」に係るゲームタイトルの著作権を保有しております。ライセンスサービスをはじめ、スマートフォンアプリ配信、キャラクター事業などマルチユース展開を行っております。
2014年からは、インディーズゲームレーベルとしてメサイヤブランドの新しい展開も行っております。



▲25周年を迎えた超ロングライフIPの筋肉派シューティングゲーム「超兄貴」シリーズ



▲シリーズ累計100万本超を誇る「ラングリッサー」シリーズ



▲累計60万人以上の会員を獲得し、「萌え+麻雀」の新ジャンルで人気を博した「桃色大戦ぱいろん」シリーズ



▲日本・中国・台湾・香港・マカオで大ヒットを記録しているスマホ版「ラングリッサー」



▲PS4用ソフトとして2015年12月発売の「重装機兵」シリーズ

当社の強み（高い人材力）

*タレント性…視覚表現力や演出力などクリエイティブな開発スキル

タレント性* の高いクリエイティブなエンジニア集団

職種

ゲーム系プログラマ

IT系プログラマ

WEB系プログラマ

インフラエンジニア

IT系システムエンジニア

WEBコーダー

ゲームディレクター

WEBディレクター

ゲーム開発プランナー

ゲーム運営プランナー

スクリプター

テスター

2Dデザイナー

3Dデザイナー

WEBデザイナー

映像オーサライザー

など

教育 研修

企画力

技術力

デザイン力

販売力

運営力

ソリューション事業

クリエイティブな開発スキル
⇒エンターテインメント系企業
を中心とした多くの需要

受託開発事業

個別のタレント性を複合活用
⇒独自性の高いサービスを
継続的に投入



当社の強み（独自の人材教育制度）

クリエイター＆エンジニアを 持続的に強化・拡充していくことができる自社養成システム

① 教育・研修システム

ソフトウェア的施策

- プログラマー、3Dグラフィッカー等の教育カリキュラム
- バーチャル研修（e-ラーニング）

② 人材インキュベーションシステム

ハードウェア的施策

技術交流施設「Co-CORE」*（ここあ）

- 研修用機材として各種開発用機材を導入・設置
- 社員が自主開催する研修への活用

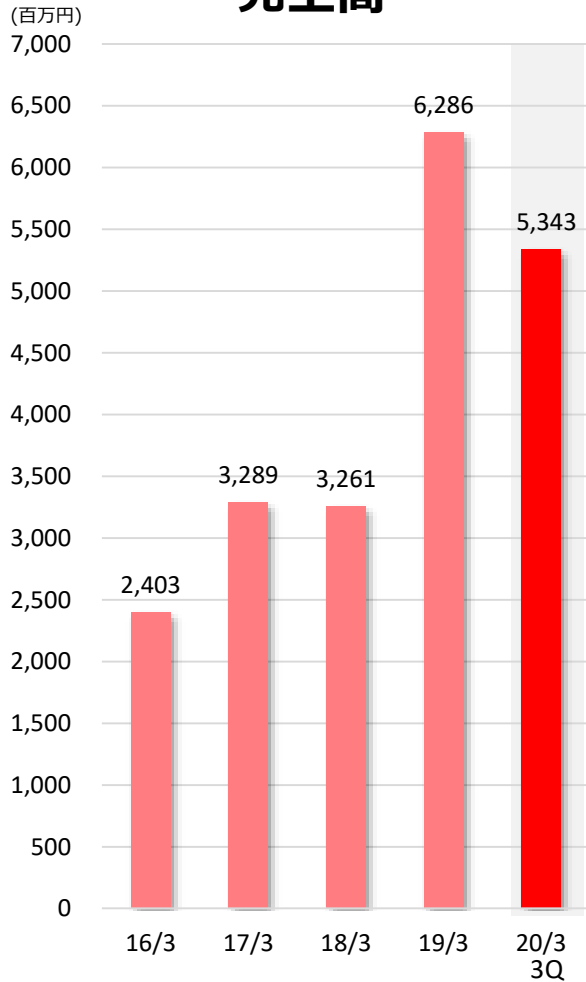


*「Co-CORE」の意味

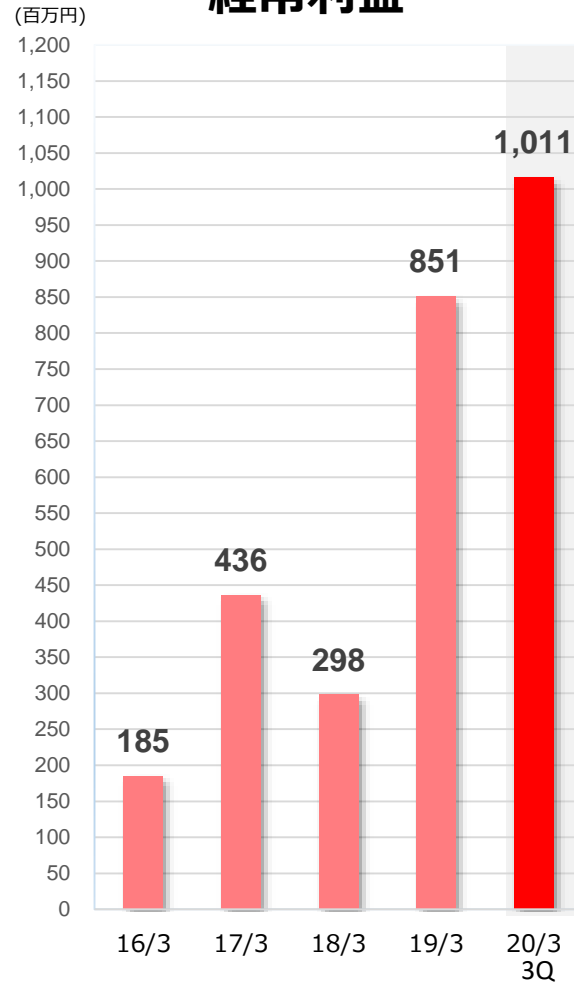
- ① Co(会社)のCORE(中心)
- ② Co(個)がCORE(会社の中心)

業績推移

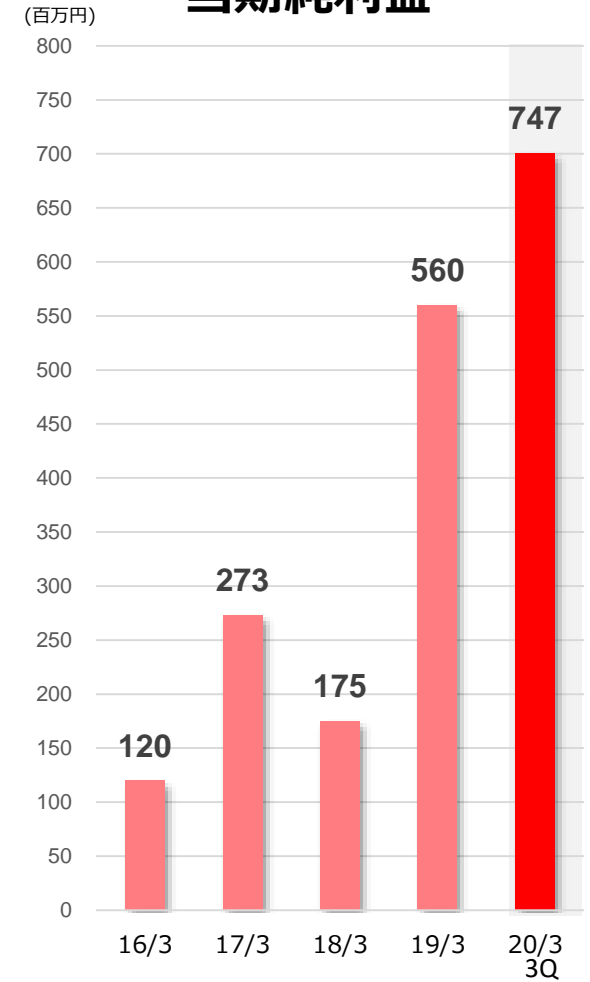
売上高



経常利益



当期純利益



本資料の取扱いについて

- 本資料に掲載している情報は、株式会社エクストリーム（以下、当社）の経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。
 - 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。
 - 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。
- 従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性等がありますことを、予めご了承ください。